

議 事 録

- 1 会議名 平成26年度第3回さぬき市総合計画審議会
- 2 日時 平成26年12月22日(月) 13時30分～16時00分
- 3 場所 さぬき市役所附属棟多目的室
- 4 出席者 【委員】岩田委員 楊盧木委員 江崎委員、金岡委員 工藤委員 多田委員
田村委員 平野委員 満濃委員 吉田委員
【事務局】穴吹総務部長 政策課 向井課長、津村係長
【傍聴】1名
- 5 会議次第 1 開会
2 会長挨拶
3 議事
(1) 第2次さぬき市総合計画前期基本計画素案について
(2) 今後のスケジュールについて
4 その他
- 6 配布資料 資料1 第2次さぬき市総合計画【前期基本計画素案】
資料2 第2次総合計画前期基本計画施策一覧
資料3 第2次さぬき市総合計画【前期基本計画素案】目標指標一覧
資料4 【第2次さぬき市総合計画前期基本計画】重点プロジェクトの設定について
- 7 議事の経過及び発言要旨

＜ 開 会 ＞ (13 : 30)	
事務局	ただいまから平成26年度第3回さぬき市総合計画審議会を開会する。 最初に会長からご挨拶を頂き引き続き議事をお願いしたい。
会長	＜挨拶＞ 議事に移る。議題1 第2次さぬき市総合計画前期基本計画素案について、事前に読まれていると思うが、感想・修正点・ご意見等があれば伺いたい。では事務局説明をお願いします。
事務局	＜説明＞
会長	資料1がメインとなる。文言や中身がたくさんあるが、目標指標は資料1には抜粋しかない。別紙資料3の方にたくさんある。7施策あって、それぞれに目標指標がついているので、100を超える指標数となっている。資料1に書いてある目標指標については意見を伺った方がいいと思う。先に読まれた方で、ぜひここだけはというところがあったらまずそれを取り上げたい。
委員	数値の根拠ははっきりしているのか。実績は直近なので、いろいろな形でとられると思うが、計画の数字はどういう数字が積み重なっているのか。計画実績対比の理由を書くときに計画と内容がはっきりわかっているか、実績がずれてくる。計画できる段階で実績が出たときにわかるようにしておいたほうがよい。中身がわからず、次の計画を作るときに何をどうしたらよいかわからないということがある。よくでき

	<p>ているが根拠ははっきりしているのかという疑問がある。相当なボリュームを分析しないと難しい面もあると思う。その辺りをどのように考えていくか、あらかじめ決めておかないといけないのではないか。</p>
会長	<p>行政評価委員会も別途見るという理解でいいのか。</p>
事務局	<p>計画と実績の差については、例えば「企業立地件数」でいえば、実績は、この企業とこの企業というふうにカウントできるが、目標値は、この企業に来てほしいということではなく、今までの実績を踏まえ、これくらいの幅で増えてきているので、それを順調に推移させていくという思いで目標を立てている。各原課は、積算根拠は持っている。毎年度、政策課で実績値を調べ、なぜ目標値まで実績値が伸びなかったのか、総括を書いてもらうところで把握するよう考えている。</p>
委員	<p>比較的とらえ易い数値を指標として挙げているのだと思うが、当初想定した指標と実績値との整合性はとれているのか。ある一つの指標だけで捉えてしまうと、本来の趣旨や市民ニーズとズレが生じてしまい、次の計画へとフィードバックできないのではと心配だ。中身を慎重に審議しておかないといけないと思う。</p>
事務局	<p>原課では、細かな収支等を見ながら、今後どうすればよいかの方針分析はしていると思う。総合計画書の中で、そこまで踏み込んだ書き方ができていないとしても、実績確認をする中で協議していきたい。先ほどの会長の話にも戻るが、行政評価委員会があり、事務事業の進行の内容など外部評価していく。来年度から行われる行政評価委員会では、この総合計画で特に中心となつておら下がっている事務事業を詳しく外部評価しながら、総合計画の目標指標の進捗ともリンクさせながら進められればということでも検討を深めているところである。</p>
会長	<p>指標はいろいろあると思うが、それぞれ、これを選んだという理由があるのか。</p>
事務局	<p>基本的に、主要施策について1指標考えてもらっている。ここに載せる前段でヒアリングを行い、いらぬものは省き、付け足したらいいものを加え、極力原課の思いに沿って作ったものになっている。ここから専門家の意見と委員のみなさんの意見を参考に修正作業を進めていきたいと思っている。</p>
会長	<p>項目的には全部載っているのだが、一般的な市民目線でいうと数字が増えた方がいいのか、減った方がいいのか、目標値より上回るのか下回った方がいいのかとわかるような文言を書いているところとないところがあり、大変ではあるが順番に見ていきたいと思う。</p> <p>9ページに指標が2つあります。〔さぬき市小規模事業者経営改善資金利子補給の新規取扱件数〕の25年度のところに横棒線が引いてありますが、何かコメントがあった方がいいと思う。「実績がない」など。ただ、目標値の妥当性を検討する材料がないので再検討したほうがいい。</p>
事務局	<p>了解した。</p>
会長	<p>12ページの指標について何かありますか。</p>
委員	<p>農作物のブランド化とあり、独自産業に取り組むことは全国的に行っているが、なかなか成功しない。後継者を育てることが大事である。法人化することも大事だ。う</p>

	<p>まくまとめてくれているが、例えばここには、集落営農組織の育成を図って、法人化を促進すると書いているが、どういう方策で行っていくのか、目安となる具体的な指針を示してほしい。それがないと、赤字であっても農業をやれというのかという意見は消えないし、農業者だけでは実行に移せない。</p>
委員	<p>12ページの〔有害鳥獣捕獲頭数〕が実際より少ない。どういうところから数字が出ているのか。</p>
事務局	<p>猟友会による、イノシシとサルの捕獲個数の職員による現地確認及び部位の確認からです。</p>
委員	<p>その5倍はあると思う。</p>
事務局	<p>平成26年度では400頭に数が増えており、27年度では500頭。対策をしているうちに、実績値が目標値を下回ることが望ましいということで、平成30年度には目標値が350頭と示している。</p>
委員	<p>私が聞いた話では、去年か一昨年でイノシシだけで600頭くらい捕獲しているようだ。補助金が足りなくなって過去2回市長に陳情に行った。去年でも200万円くらい足りなかった。記載頭数が何を根拠に出しているのかわからない。</p>
委員長	<p>イノシシだけの数ですか。狩猟期以外の捕獲数なのか。</p>
事務局	<p>イノシシとサルの耳としっぽを農林水産課職員が確認した実績数である。農林水産課に再確認するが、狩猟期以外の数については市の方ではカウントできていません。狩猟期間以外での捕獲頭数となります。市から1頭1万円の助成金が出ている頭数しか市では把握できていません。駆除を強化していけば、平成30年度辺りでは捕獲頭数自体が減ってきて、目標値も下がるのではないかという考えではないかと思います。</p>
委員	<p>目標指標の中に現状の農家戸数が入っていない。平成30年度にはどうなるのか、大事なので入れた方がよい。</p>
会長	<p>先ほどの有害鳥獣の捕獲数についてだが、数字の裏付けや説明を加えるなどしてはどうか。続いて、14ページの水産業の指標についてはどうですか。地産地消を含めるということですが、地産地消の指数は何かあるのか。</p>
事務局	<p>難しいと思います。今までの地産地消でいうと学校給食の中でどれくらいの食材の割合を使っていたのかということで指標にしたことはあるが、一般的な消費の中でどれだけ市内の物を購入したか、口にしたかということは調査が難しい。</p>
会長	<p>農業の方では農産物直売所という指標があるのですが、漁業ではないのか。農業に比べて指標数も少ない。</p>
事務局	<p>安定して水産資源が獲れており、水揚げされた物については市内か近郊で消費されることが多いため、今回は属人漁獲量を中心に指標を出しているが、目標指標が増えるかどうか確認します。</p>

会長	<p>16ページの観光の指標についてはどうですか。</p> <p>お接待の心推進プロジェクトにも関係するので、そちらでも尋ねるようになるが、観光客の数についてはどうやってカウントしたのか。</p>
事務局	<p>商工観光課で来場者数を年間でカウントしている一覧表はある。そのカウント方法については聞き取りができていない。</p>
会長	<p>農業のように実際の正確な数字なのかどうか。</p>
事務局	<p>正確性は難しいと思う。</p>
総務部長	<p>もともとは県の観光動態調査というものがあり、市からも報告はしている。例えば「津田の松原」に何人来たか数えることは出来ない。ただ、「シーサイドコリドール」のように何人宿泊したかわかる部分もある。全てが、わかる部分とわからない部分が入り混じっている。</p>
会長	<p>230万人、こんなに来ているのか。</p>
総務部長	<p>例えば大窪寺とか長尾寺だと年間に何十万人の観光客がいる。</p>
委員長	<p>18ページの雇用ですが、実績がないので比較はできないが、今まではどんな政策をしていたのか。</p>
事務局	<p>市では直接的にしていなかった。雇用対策協議会に市から助成金を出して市内の事業所に地元の高校生等が就職できるような形での支援を行っていた。県外からさぬき市に戻って就職したいという方と、事業所とのマッチングは今まで実績がなく、今年度から新しく始めたものです。</p> <p>前回の後期基本計画では〔有効求人倍率〕で指標を取っており、今回も有効求人倍率は入れたほうがよいのではないかという意見を行政評価委員会の委員長からいただいております、追加の予定である。</p>
会長	<p>20ページの定住対策についてですが、数字がマイナスになっているが、説明のとおり、転入者から転出者を差し引きしているためである。別紙にもあるが、目標の値が減少すればよいということであるがよろしいか。次、23ページの防災の指標について意見をどうぞ。</p>
委員	<p>志度の方に、逃げる場所がなく、避難タワーを作ってもらえないかとよく言われる。高いところまで歩いて行くといっても遠すぎて行けない。すぐ行動に移しても、10分では津波の届かないところまで行けるかどうかかわからない。空き家があちこちあるので、整備して避難タワーを建ててもらえないかという要望が出ている。</p>
委員	<p>高知と違ってさぬき市は無理なのでは。</p>
委員	<p>無理であれば寄付金で。可能な所に収容してもらえよう考えてほしい。今年になって、津田高校の運動場が広域の避難所になっている。</p>
委員	<p>自宅から近くても、津田の合同庁舎は避難場所になっておらず、鍵がかかっている入ることもできない。</p>

委員	防災に関してはみなさん気になるところ。各地域の中で、「このビルは一時的に避難できます」というようなことを、市がきちんとした形でお知らせしてはどうか。
委員	市から事業所に話をして避難可能であるという広報を全戸に配り、市民が把握できていないといけない。
会長	実際の災害時に誰が何をどうするかというマニュアルが必要である。「さぬき市防災計画」というものがあるが、その中で実現可能なものに近づけてほしい。
委員	〔自主防災組織のカバー率〕の指標が約80%近くあり、目標が90%と高いが、現況としては格好だけで動いていない。危機感を持っている。
委員	〔自主防災組織のカバー率〕はどのように計算するのか。
事務局	資料3の7ページに書いています。
委員	結成後の、地域に合った指導、フォローが必要なのではないかな。
委員	例えば大川ダムを放流します。津田川沿線に避難勧告が発令の場合、津田川沿線とはどこかと質問したところ、一部でも接している自治会は全ての人が避難しないといけない。家が高台にある人であっても、避難対象になるということが市民はわかっていない。市が考えていることと私たち市民が考えていることはかけ離れていることもある。
委員	自主防災組織結成行政区の中で、どんな施設、どんなバックアップの体制になっているかという中身の問題を抜きにして、自主防災組織を作ったらそれでいいというのでは怖いのではないかな。
委員	大半はペーパーのはずだ。自主防災会を作っているが、避難訓練・防災のための寄付を集めているようなところはゼロに近い状態のはずである。
委員	年に何回か指導があります。
委員	指導があっても本部長が固定しているようなところはいいが、毎年自治会長が本部長であり、動ける方がいいが、高齢の自治会長もいらっしゃる。昨日、松尾地域で避難訓練をしたところ、200人くらいの参加があったが、遠いので参加しませんという自治会もあった。
委員	中身の指標についても必要なのでは。
会長	今の指標はざっくりしているので、もう少し実態に即した指標もあるとよいだろう。これだけでは納得しにくい。
事務局	自主防災組織では、カバー率だけが指標となっている。22ページの【主要な施策とその概要】を見ていただくと(1)地域防災力の向上の中で、①自主防災組織の結成の促進と各組織の訓練の支援、地域防災リーダーとなる防災士の育成の強化ということで、組織自体と共に活動自体が活発になるような取り組みをしていくと書かれている。ただそれを指標に結び付けられるものが具体的にあるかないか担当課と相談し、

	掲載できるものがあれば載せていくよう考えていきたい。
会長	25ページの指標についてですが、犯罪や事故の件数は減り、消費者相談は増える と生活安全面がよくなると理解しているがよろしいか。
会長	28ページの道路や橋についてはいかがか。
会長	30ページの交通については、さぬき市の公共交通はコミュニティバスが中心になるが、 経費については削減していきたい方針のようだが、いかがか。
会長	33ページの住環境の整備については指標が5つあり、耐震・リフォーム・公園等 空き家対策についても書かれている。文書中の《さぬき市都市計画マスタープラン》 というのが別にあるのですか。
事務局	あります。
会長	それと関連してくると思うが、リフォームや公園についてもお金が必要であるもの だが、比較的関心の高い、空き家に対する指標は何かありますか。
委員	2年位前に自治会を通じて空き家調査をしたはずだ。
事務局	自治会を通しての空き家調査、それ以外に新聞に掲載される空き家率は、国が5年 に1回している《住宅土地統計調査》からだが、前は24年度に行われているの で、次回29年度と比較することはできる。ただ、市の取組がその中でどう反映でき るか。空き家対策については国の特別措置法ができ、県の補助制度が新たにできた ということで、市も来年度から新たな取り組みをしていく予定だが、目標指標となるか どうか検討させていただきたい。
会長	35ページ墓地・斎場の整備について。管理不全区画割合だが、ここに書かれてい る数字は市の管理だけですか。お寺や民間は含まれるのか。
事務局	含んでいません。
委員	永代供養に変え、墓じまいをしている人も増えている。そんな時代なので、墓地に 力を入れる必要はあまりないのではないか。
会長	市営墓地だけで市の実態が把握できるのか、疑問ではあるが、次、38ページの子 育てについて。ファミリー・サポート・センターはボランティアなのか。
委員	ファミリー・サポート・センターは市から委託を受けて社会福祉協議会が行ってい る有償ボランティアで、市民同士の助け合いとなっている。
会長	活用状態はどうですか。
委員	現状、おねがい会員は増えています。ただ、まかせて会員のなり手がいないという 問題がある。マッチングして、双方が了解済みで活動している状態です。まかせて会 員で登録はしているが、実際動いている人は少ない。

委員	車に乗せて学校の送り迎えをしてほしいとなると、車に乗らない人もいるし、事故のリスクもあり難しい。
会長	さぬき市の待機児童の数はどこかに書いているのか。何人いるのか。
事務局	書いていません。待機児童はゼロです。
会長	産婦人科医は結構いるのですか。さぬき市の方の多くは出産時どこに行くのですか。
事務局	市内であればさぬき市民病院。
会長	安心して産んで育てられるということですね。指標は悪いものをよくするものばかりでなく、いいものを継続させる指標も載せてはどうか。
事務局	年少人口数と待機児童数を目標指標数の中に入れるか、これから協議ではある。ただ、待機児童数はゼロなのですが、行きたいところに行けないという苦情があるとは聞いている。
委員	(4)子育て支援サービスの充実というのが、人口減少を止めることに直結すると思うので、充実させてほしい。寂しい。
会長	41ページ高齢者福祉について。
委員	老人クラブ会員数が減っているのが気になる。
委員	26年度に特に減った。高齢化でお年寄りが増えていますが、老人クラブに入らない。
委員	資格はあるが入りたくない人が多い。親子ではもっと入らない。
会長	老人クラブは、生きがいを持って前向きに取り組んでいる高齢者をイメージしている言い方をしているが、もう少し違う内容の生きがいも入れてはどうか。
委員	要介護認定者数ですが、40ページ(1)健康づくりや介護予防の推進をして元気な高齢者をつくるのだが、要介護認定者数がこの数字になるという解釈でよいか。
事務局	はい。他に、行政評価の方から特別養護老人ホームの入所待機高齢者数の指標はどうかという意見もあったのですがいかがですか。
委員	数が読めないのではないかと。
委員	申し込みは、2～3か所掛け持ちでされている方が多い。
委員	介護保険制度が変わったので、特養には1000万円以上持っている人は入れない。
事務局	グループホームに行ってくださいということですか。

委員	そう。もしくは有料老人ホームになる。
委員	中途半端にお金があると制度の狭間でどこにも行き場がない。
委員	いくら所有しているかわかるのか。
委員	一人世帯であれば本人の年金だけでわかるが、家族同居であれば、例えば、息子・息子の嫁・孫にいくら収入があるということで対象外になることがある。調査権がある人が調査している。
会長	44ページ、障害者福祉について。サービスの利用者数になりますが何か意見ありますか。よろしいですか。
会長	46ページ、地域力による地域福祉について。ボランティアや見守り隊について何かありますか。
委員	〔ふれあいサロン年間開設数〕の単位が回になっていますが、ふれあいサロンの開設箇所数です。「ふれあいサロン開設数」にさせていただいて、単位は、回から箇所に訂正をお願いします。
会長	48ページ、心身の健康づくりについて、食育の話も入っている。〔睡眠を十分に取れていない〕というのは指標になるのか。あってもいいが、大々的に言うものなのか。
委員	メンタルヘルスの観点から必要なのではないのか。
会長	〔がん検診受診率〕の数字は全国平均か何かあるのですか。さぬき市の受診率が低いのかどうかわからない。
事務局	県や厚生労働省に報告している数字だと思うので、統計的に、県内の他の自治体は把握できるはずですが。今は手元にありません。
委員	それは国保だけですか。社会保険であれば義務になり強制で行かされるが、国保は受けない人が多い。注釈を入れてはどうか。さぬき市の人は20%しか健康診断しないのかと誤解される。
委員	〔朝食を毎日食べる割合(3歳児)〕ですが、経験から言うとおそらく50%くらいだと思う。30年前に幼稚園の両親共働きの児童に聞いたところ、ほとんどの児童が朝食を食べていなかった。
委員	朝食の内容については、パンしか食べない、牛乳しか飲まないでも、朝食を食べたことになる。
委員	小学校で夕食・朝食を食べていないので、泳げないという子がいた。
委員	明らかに食べていない子でも「食べています」という子もいた。
会長	50ページの地域医療については何かあるか。

会長	52ページ、生活困窮者への支援について、意見はあるか。
委員	新しい制度は考慮された数値なのか。
委員	新しい「生活困窮者自立支援法」が4月1日から施行されますが、最初は相談件数が増えて、保護世帯数も増えることが予想される。それも考慮された数字だと思う。
会長	54ページの社会保障制度の指標について。
会長	次、57ページ、学校教育の分野について。
委員	〔不登校児童生徒数〕ですが、小1.6というのは何人あたりですか。100人あたりか。
事務局	1000人あたりの数です。
会長	59ページ、家庭と地域の教育力についてはどうか。
会長	62ページ、生涯学習・スポーツについての指標は。
委員	〔公民館利用者数〕ですが、26年度から8万人という数字が変わらないが、施設が良くなるから変わらないということか。
委員	施設は減るが、利用者数はあるということでは。
会長	今までの経緯に基づいた数字だろう。 次、64ページ、歴史・文化の指標について。企画展示の数が少ない。これで指標になるのかと思うが、場所が決まっているから仕方ないのだろう。
会長	次、66ページ、青少年の健全育成について。〔補導活動による声かけ等人数〕というのは、誰が声かけをするのか。
委員	職員やボランティアです。
会長	どういうところで声かけするのか。
委員	駅前やコンビニなどだ。
委員	月1回警察の人とパトロールなどをしている。
会長	次、交流事業だが、68ページ。合併前からしている北海道との交流ですが、まだするのcaという意見や、もっとしないのかという意見があり、どう判断したらよいか。
委員	外国との交流はどうなりましたか。
事務局	なくなりました。

委員	アイゼンシュタットは。
事務局	文書だけです。
委員	音楽ホールに少年少女合唱団は行っていないのか。
事務局	だいぶん前に行きました。
委員	韓国は。
総務部長	民間の団体がしています。
会長	70ページ、男女共同参画について。 各委員の女性の割合とかDV防止の活動数の指標があるが、消防団員に女性が何人いるかというような指標も見たこともある。さぬき市の職員で女性が何人いて女性管理職が何人というような目標を作ってはどうか。
事務局	女性管理職については、男女共同参画プランには入っている。
会長	72ページ、人権教育について。
会長	74ページ、自然環境との共生について何かあるか。
事務局	〔狂犬病予防注射接種率〕については、注射済み票を交付していない人も受ける方がいると聞いている。
総務部長	民間で受けると、注射済み票は出ない。
会長	〔環境保全活動回数〕は各種団体によると書いているので、いろんな団体に調査しているのでは。
委員	申請して、ゴミ袋の配布を受けている団体ではないのか。子供会や老人会など。
会長	77ページ、資源循環型社会の構築の指標ですが、人口減少にも関係しています。 〔リサイクル率〕はあるが、ゴミの量を減らすという指標はないのですか。人口が減少するからゴミの量が減るだけで、一人あたりの量を減らすという指標がないのが気になる。 次、79ページ、上下水道について。専門的な計算については別紙に載っている。
委員	加入がまだ全部できていない。工事はしているが、つないでいないところもある。
委員	浄化槽を持っている人は、本管につながなくても浄化槽で浄化できている。浄化槽を買う時に元手を入れている。本管につないでいる人は公共で使用料を払っている。
委員	合併槽はいいが、単独槽は市が特例を出して本管につなぐようにしなくてははいけない。
会長	市も該当する計画に沿って粛々と取り組んでいると思う。

会長	<p>最後、81ページ、財政の健全化について。</p> <p>こちらの指標は、市民のみなさんも関心があると思うが、数字の意味がわかりにくいので説明があった方がよいのでは。何か意見はありませんか。</p>
委員	<p>〔市債残高〕についてですが、257億円をどうやって返していくのか。</p>
事務局	<p>毎年返しています。</p>
委員	<p>どこに記載されているのか。「市債残高の削減に取り組むなど財政の健全化を進めていきます」とは書いているが、これだけですよ。</p>
事務局	<p>全般に言えることなのですが、特別に書いた方がよろしいか。</p>
委員	<p>ほとんどの文言が「努めます」、「実施します」となっている。それで総合計画の役割はいいのか。</p>
事務局	<p>基本計画なので、実際には指標をどうやって達成するのかという話でしたが、この下に具体的にどうやっていくかという実施計画というものがつきます。それには主要な事業や具体的な取組が書かれてくる。これは、目標に向かっていく中で、柱となる部分での方向性と方針的なものである。</p>
委員	<p>この計画をした時に〔財政力指数〕・〔経常収支比率〕・〔実質公債費比率〕等はそういうものとはかけ離れて、この指標を挙げているだけなのか。この計画を実行したら、例えば27年度の上期の決算はこうなるという、といったところまで踏み込まなくていいのかという疑問がある。</p>
事務局	<p>実際のところ、努力目標的なものが多い。ただ、中には〔市道における改良率〕のように、今のペースで予算を配分していけば、何%くらい改良していけるという数字に裏打ちされたものもある。一定の予算をつけて執行すれば、ある程度改善される部分とそうでないものがある。例えば〔企業立地件数〕は市がどんなに頑張っても民間の方々がどうなるかという部分もある。〔犯罪の抑止率・件数〕にしてもいくら啓発しても、という部分もあって、市だけで達成できないものがある。こういう場合は、数値的に裏打ちされたものを見せることは非常に難しい。ただ、現実には即した中で、目標を目指していこうという数値です。大事なことは、目標をどういうふうを目指していくかということではないかと思う。財政的な視点でいえば、将来的に借金を減らしていく方向で、尚且つ必要な投資を進めていくという考え方が大事である。</p>
会長	<p>指標のところの説明があった方よい。特に、将来負担比率がゼロになるのはなぜなのか、というところは少し理由を書いてほしい。</p> <p>続いて、84ページ、収入の確保について。82ページと別紙84ページの数字が合わないのでは。</p>
事務局	<p>82ページは3年間の平均で、84ページは単年で書いていますが、誤解されるかもしれないということですね。</p>
会長	<p>そうだ。できれば同じ数字で書いてほしい。85ページ、行政改革について。</p>
委員	<p>〔電子計算費事業コスト〕ですが、2300円ということですか。</p>

事務局	電子計算費の総事業費を人口数で割っています。市民一人当たりの費用です。
委員	規模がわかりませんね。
会長	パッと見、何が言いたいのかわかりにくいですね。
委員	〔外部研修参加率〕を%で表していますが、職員100人いるとして10人参加すればそれでよいということですか。参加することに意味があるのでしょうか。受講しただけでなく、中身の問題をしっかりと見ないといけないのでは。
事務局	おっしゃる意味はわかります。ただ指標でどう表現していくかというのは難しい。
会長	89ページ、公共施設マネジメントについて。 中学校の跡地とか公共施設の再編ですが、指標が出ていないのですね。
事務局	現在、計画を作っているところです。
会長	どんなものですか。
事務局	《公共施設再編基本計画》といい、市内全体の公共施設を調査して今後どの施設を生かしてどの施設を統合していくかというものです。公民館・集会施設、運動公園などたくさんあるので、市として保有できる水準に適量化していくという具体的計画を作っています。例えば廃止となったものの中でどれだけ実績が上がったかという指標を挙げていこうと思っている。
会長	統廃合とか廃止の検討ですね。
事務局	はい。
会長	91ページの指標について。 〔ホームページのアクセス件数〕が減るというのは、人口が減るからですか。
事務局	減るのではなく、25年度はホームページをリニューアルしたので、きちんと動いているかどうか、リニューアル業者が確認するためにアクセスした件数が多かったということです。
会長	92ページ、地域コミュニティについて。 先程の統廃合を含む形になると、コミュニティ施設の指標の数値は変わってくるのか。それとも独立ですか。
事務局	独立です。
会長	大きく変わりはしないかもしれないが、関連はしますよね。 次、95ページ、広域的行政について。定住自立圏はどちらとしているのか。
事務局	高松市と周辺自治体です。
会長	今後のスケジュールですが、事務局からお願いします。

事務局	今日みなさんからいただいた意見と、欠席委員からいただいている意見を含めて修正作業をいたします。それが終わったらパブリックコメントを出します。パブリックコメント期間は1月15日(木)～29日(木)くらいまでを想定している。パブリックコメントについてはみなさんご承知のとおり、あまり意見が来ないということで、少しでも増えるように1月5日くらいから「15日からパブリックコメントを始めます」というような宣伝をする予定です。その後、議会の総合計画審査特別委員会で審査も経て、2月上旬には第4回総合計画審議会を開催して最終判断をいただき、答申いただければと思っている。
会長	2月4日(水)9時30分からでいかがか。
事務局	了解した。2月4日(水)9時30分から302会議室でお願いします。また案内させていただきます。
会長	次回が最終となるので、パブリックコメントが出ている間で気付いたことがありましたら連絡をお願いします。
事務局	ぜひ、お知り合いの方にパブリックコメントのPRをお願いしたい。
会長	パブリックコメントはホームページですか。
事務局	ホームページでも見れますし、本庁と支所に投稿用の書類を用意する。
会長	以上で、第3回総合計画審議会を終了する。

< 閉 会 > (16:00)